

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	☐			法令を遵守したスペースの確保し、十分身体が動かせるよう工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	☐			法令で必要とされる人数を配置。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			☐	建物の構造上バリアフリーには対応できていません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	☐			日次・月次で職員参加のMTGを実施しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	☐			結果を集計し、MTGで振り返り、業務改善に繋がっています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	☐			こどもプラス 茅ヶ崎教室HPで公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	☐			現在は、利用者・社内・ひだまり事務所の3者評価となっています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	☐			毎月本部研修に参加、社内を持ち帰り共有しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	☐			定期的に支援会議を行い、その他緊急性のあり課題については即時対応。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	☐			アセスメントツールとしてはS-M社会適応能力検査に移行中
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	☐			日次・週次・月次で運動プログラムの立案
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	☐			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	☐			全ての利用日に偏りがないよう立案
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	☐			アセスメントに基づき、集団・個別のプログラムを特性に合わせ作成。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	☐			支援開始前、送迎の確認を含め前回の利用状況や昨日の様子などを職員に共有。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	☐			支援終了後に必ず振り返りを行い、記録に残し職員間で共有。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	☐			毎回利用時には記録を取り、支援内容の改善や検証に反映。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			支援会議にて計画の見直しや必要性を判断し個別支援計画に反映。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			複数組み合わせ支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者はじめ、日々児童の状態を把握しているものが支援に携わり会議等に参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			ご家庭や学校との連絡を密にしてトラブルの無いよう情報共有をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療ケアの必要な児童の受け入れは今のところありませんが、受け入れがあった時には主治医やご家庭との連絡体制を整え、緊急時などにも対応できるよう体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			ご家庭の了解を得た上で、情報共有や理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修には積極的に参加出来るよう努めています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			地域交流につきましては限られた時間内で実施することが難しく、イベントなどで個々に参加が出来るよう工夫をしています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加をし、情報共有をしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			ご家庭、学校、事業所と連携を取り共通理解を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			支援後のフィードバックや面談にて支援方法のアドバイスなど提供できるようにしています。 また、ペアレント・トレーニングの研修などの積極的に参加し知識習得に努めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時の説明と共に、変更があった時には書面にて同意を得ています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			支援後のフィードバックや面談にて支援方法のアドバイスなど提供できるようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			

非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情処理体制に基づき、苦情のあった時には会議を開き、再発防止対策を保護者に提示するとともに、社内でも共有しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		過去には定期的な会報を発行し情報を保護者に発信していましたが、現在実施できていません。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の記載された書類は鍵付きの書庫に保管し、適切な対応を行っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子供、保護者の状態に応じて、ICTの活用や視覚的情報を活用して、情報伝達や意思の疎通に配慮を行っています。また、合理的配慮に基づき支援に尽力しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			マニュアルを整備し、年2回の避難訓練の実施をしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			マニュアルを整備し、しかるべき研修の参加や情報共有をしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			重要事項説明書に掲載。 やむを得ず行われた時には、身体拘束に関する説明書を作成し、同意を得ています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師による指示書のに基づき、ご家庭から連絡を頂き、施設内で共有し該当物質と接触が起こらない様留意しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が起こった時には、ヒヤリハット報告書を作成し職員間で共有しています。